

外科的切除を受けた肺腺癌患者を対象とした EGFR 遺伝子変異および主要な組織学的亜型に応じた術後再発パターン解析

課題番号：2026-177

作成日：2026 年 8 月 24 日 第 1.0 版

1. 研究の対象

2008 年 1 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までに国立がん研究センター東病院で肺葉切除術を受けた症例のうち、包括的同意が得られている患者かつ、術後病理で肺腺癌と診断された 20 歳以上の方。

2. 研究目的・方法

研究目的：肺腺癌の主要な組織学的亜型の臨床病理学的特徴と予後との関係を明らかにする事です。

研究方法：研究対象者の診療録から治療歴などの診療情報を抽出し、既に作製された手術標本を再評価し解析を行います。それに際して必要に応じて、手術残余検体から標本作製を行います。

研究実施期間：研究許可日～2030 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

【情報】：TCGA database に存在するデジタル病理画像、対象患者の臨床病理学的情報（年齢、性別、喫煙歴、検査所見、画像所見、術後治療内容、手術所見(術式等)、病理所見(組織型・病期等)、腫瘍径、治療経過、予後、再発等)を抽出して、臨床病理学的因子と再発パターンとの関係を評価する。

【試料】：手術で摘出した組織、既存の HE 染色標本と必要時は追加で病理ブロックから標本作製し、HE 染色、特殊染色、免疫染色を行う。

4. 試料・情報の授受

本研究は単施設研究であり、他機関への試料・情報の提供は行いません。

本研究で用いた試料・情報を当院で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、当施設の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（試料・情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

・国立がん研究センターが参加する研究に関する公開情報

https://www.ncc.go.jp/jp/about/research_promotion/study/zisshi.html

5. 研究組織・研究責任者

研究責任者：国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科 石井 源一郎

6. お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科

石井 源一郎

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL 04-7133-1111

研究事務局：

国立がん研究センター東病院 呼吸器外科

中山 和真

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL 04-7133-1111